

阿弥陀堂の特別公開

昨年十一月の報恩講期間中には、御修復中の阿弥陀堂の内陣と御影堂門の楼上に安置されている釈迦三尊像（釈迦如来像・阿難尊者像・弥勒菩薩像）の特別公開を実施したところ、三万六千人以上の方が訪れました。

特に、釈迦三尊像は御影堂門の楼にあつて普段は見る事が出来ないため、多



特別公開時の釈迦三尊像

くの方が、興味深く見学されてきました。

真宗本廟の釈迦三尊像は、本派の正依の經典である『大無量寿經（仏説無量寿經）』において、阿難尊者と弥勒菩薩を対告衆として、釈尊が説法されている会座に基づいたものです。

明治十二（一八七九）年に第二十一代厳如上人のご自刻によって製作されたもので、御修復工事に際し、亀裂や彩色の剥落などが目立つようになつたことから修復・美掃を行い、再び楼上へお戻りする前に、今般、特別公開いたしました。

なお、阿弥陀堂は、二〇一六年三月三十一日の御本尊還座式（御影堂内の仮阿弥陀堂に安置している御本尊・阿弥陀如来像がお還りになる式）まで、御本尊還座に向けて内陣莊嚴の準備や音響・照明の調整を行うなどの作業があるため、阿弥陀堂内へ入堂いただくことができません。いましばらくご理解いただきますようお願いいたします。

現在、一階には男子トイレ・二階には女子トイレを設け、さらにはそれぞれにオストメイトに対応した多機能トイレを備えています。

このエレベーターとトイレは、昨年の御正忌報恩講期間中には先行して試用いただきましたが、その後、一旦閉鎖し、細部を調整の後、本年より本格的に使用できるようになりました。

今後は、これまでの工事エリアとして使用していた境内の白洲においても、車椅子通路やスロープの復旧・整備を行い、車椅子の方々を含め皆様に安心して参拝いただけるようにつとめてまいります。



特別公開時の阿弥陀堂内陣

- ※1 一宗の拠り所とする經典の中で、特に正しく拠り所となる主な經典をいう。
- ※2 仏が説法するとき、聴衆のなかから特に選ばれて、その対象として呼びかけられる者のこと。
- ※3 仏教の教えを聞くため、人々の集まつた場所をいう。集まり。



御修復のあゆみ 〳 伝承された先達の願ひ 〳

御影堂・阿弥陀堂間の車椅子用エレベーターとトイレ改修工事



両堂間のエレベーターとトイレを改修しました

このたび、御影堂と阿弥陀堂の御修復にあわせて、両堂間をつなぐ造合廊下つくろいあいににある車椅子用エレベーターとトイレの改修工事を行いました。

これまで使用していたエレベーターは、設置以来三十年以上が経過し、老朽化が進み更新の時期に至っていたことから、新しいものを導入することになりました。近年はエレベーターの「かご」に昇降機能が組み込まれたため、従来のエレベーターにあった昇降ポンプを稼動するための機械室が不要となり、この空きスペースを活用して、二階（御影堂・阿弥陀堂の床面の高さ）にあった男女共同のトイレを、階を分けて男女別に改造いたしました。

現在、一階には男子トイレ・二階には女子トイレを設け、さらにはそれぞれにオストメイトに対応した多機能トイレを備えています。

このエレベーターとトイレは、昨年の御正忌報恩講期間中には先行して試用いただきましたが、その後、一旦閉鎖し、細部を調整の後、本年より本格的に使用できるようになりました。

今後は、これまでの工事エリアとして使用していた境内の白洲においても、車椅子通路やスロープの復旧・整備を行い、車椅子の方々を含め皆様に安心して参拝いただけるようにつとめてまいります。



2階（女子トイレ）



1階に男子トイレを新設しました